

※本表（平成29年度病床機能報告に基づく分析）は、国が開催したワーキンググループの資料（一部改変）であり、内容については国において精査中

資料2（参考3）

Table with 12 columns: 都道府県名, ID, 医療機関施設名, 設置主体, 合計病床数, 高度急性期病床数, 急性期病床数, 回復期病床数, 慢性期病床数, 休棟中等病床数, 稼働率 (高度急性期・急性期病棟), 人口区分, 公立・公的医療機関等, 民間の地域医療支援病院, 公的等2025プラン対象, 公立病院新改革プラン策定対象, 地域周産期母子医療センター, 総合周産期母子医療センター, へき地拠点病院, 災害拠点病院, 地域医療支援病院, 特定機能病院, 基幹型臨床研修病院, A 診療実績が特に少ないがん, 小児医療, 救急医療, 脳卒中, 救急医療, 小児医療, 周産期医療, 災害医療, へき地医療, 研修・派遣機能, B 類似かつ近接がん, 小児医療, 救急医療, 脳卒中, 心筋梗塞等の心血管疾患, 該当数, 再検査要請対象医療機関

(留意事項)
・平成29年度病床機能報告において、「高度急性期」又は「急性期」の病棟があると回答した公立・公的医療機関等が記載されている。
・平成29年度病床機能報告の報告後に、高度急性期及び急性期機能の廃止が行われた公立・公的医療機関等については、医療機関名の後ろに「※」を記載している。